後期基本計画

第３章　暮らしを支えるまちづくり

第１節　総合的・計画的なまちづくり

1　土地利用

2　市街地の整備

第２節　快適で住みよいまちづくり

1　交通体系・公共交通の充実

2　道路の整備及び維持・管理

3　公園・緑地の整備及び維持・管理

4　良好な住宅・住環境づくり

5　景観形成

第３節　活力と賑わいの産業づくり

1　農業の振興

2　商工業の振興

3　観光の振興

令和５年度　施策評価シート

主担当課	課	都市計画課	
副担当課	課		
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	1	総合的・計画的なまちづくり
	項	**1**	**土地利用**

1　目指すまちの姿

計画的な土地利用が行われ，快適で住みよいまちになっています。

2　個別施策の目標達成状況

個別施策名（施策コード）	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
				H30（基準）	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
計画的な土地利用の推進 3111	都市の健全な発展と秩序ある整備が図られ，より良い環境になっています。	用途地域見直し面積	目標		112.0ha	112ha	118ha	136ha	184.8ha	**B**	当町では都市的土地利用への転換が進んでおり，まちづくりの方針に適合した用途地域，地区計画の変更をしていく必要があります。
			実績	112.0ha	112.0ha	112ha	118ha	118ha			
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

3　施策の進捗状況

指標等の成果を基に総合的に評価	区　分		進捗状況区分を選択した理由
	A　順調に進捗している B　概ね目標達成に向けて進捗している C　一部進捗に遅れが生じている D　進捗が大幅に遅れている	**B**	上位計画に基づき，都市計画の見直し（上本郷地区の市街化調整区域の地区計画，都市計画道路の廃止，東部工業団地周辺地区の市街化調整区域の地区計画）作業を実施し，合理的な土地利用の推進が図れている。

4　今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区　分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	Ⅰ　現状のまま継続する Ⅱ　一部見直し等の余地がある Ⅲ　見直し等の余地が大きい Ⅳ　抜本的に見直し等が必要	**Ⅰ**	阿見町都市計画の基本的な方針である都市計画マスタープランの見直しを適切に進める。 立地適正化計画の適切な運用を図り持続可能なまちづくりを進める。 新市街地でのまちづくりの進捗を注視し，適切な地区計画等都市計画の見直しを行う。

令和５年度　施策評価シート

主担当課	課	都市計画課	
副担当課	課		
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	1	総合的・計画的なまちづくり
	項	**2**	**市街地の整備**

1　目指すまちの姿

計画的に市街地が形成され，快適で住みよい魅力あるまちになっています。

2　個別施策の目標達成状況

個別施策名（施策コード）	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
				H30（基準）	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
市街地開発と都市施設の整備 3121	魅力的な市街地が形成されることにより，町外からも多くの住民が移り住むようになります。	市街化区域内の都市計画道路整備率	目標		77.5%	77.9%	78.3%	79.26%	79.59%	**B**	荒川本郷地区では近年民間主導による開発等が進んでおり，まちづくりの新たな段階を迎えている。更なるまちづくりを推進していくためには都市基盤となる都市計画道路，公園等の公共空間，公共施設の整備を行う必要がある。
			実績	77.5%	77.9%	77.9%	77.9%	78.3%			
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

3　施策の進捗状況

	区　分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を基に総合的に評価	A　順調に進捗している B　概ね目標達成に向けて進捗している C　一部進捗に遅れが生じている D　進捗が大幅に遅れている	**B**	荒川本郷地区内のCブロックにおいて，民間事業者と一体となり，都市計画道路（センター通り線）の整備を実施した。

4　今後の方向性

	区　分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	Ⅰ　現状のまま継続する Ⅱ　一部見直し等の余地がある Ⅲ　見直し等の余地が大きい Ⅳ　抜本的に見直し等が必要	**Ⅱ**	土地利用について，引き続き積極的な民間活力の導入と町有地の有効活用に努め，住みよいまちづくりを推進する。 また，土地利用の進捗を見極め，適切な土地利用に基づく都市計画の見直しを進める。

令和５年度　施策評価シート

主担当課	課	都市計画課	
副担当課	課		
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	2	快適で住みよいまちづくり
	項	**1**	**交通体系・公共交通の充実**

1　目指すまちの姿

町内や周辺地域への移動利便性が確保され，子どもから高齢者まで，すべての町民が便利に暮らしています。

2　個別施策の目標達成状況

個別施策名（施策コード）	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
				H30（基準）	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
公共交通の利便性向上 3211	公共交通の利用者が着々と増えています。	デマンドタクシー「あみまるくん」の乗降客数	目標		10,250人	10,400人	10,750人	10,950人	11,500人/年	**A**	公共交通機関の乗降者数を新型コロナウイルス感染症の流行前と比べると，デマンドタクシーは同水準に戻ってきたが，路線バスに関しては戻りきれていない。
			実績	10,150人/年	11,729人	8,693人	9,916人	11,306人			
		路線バスの乗降客数	目標		3,100人	3,200人	3,300人	3,400人	3,500人/日	**B**	
			実績	3,140人/日	3,113人	2,493人	2,609人	2,799人			
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

3　施策の進捗状況

	区　分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を基に総合的に評価	A　順調に進捗している B　概ね目標達成に向けて進捗している C　一部進捗に遅れが生じている D　進捗が大幅に遅れている	**A**	路線バスの乗降者数は，増加傾向にあるものの目標水準に達していない。今後は，公共交通の利便性向上を図るため，地域公共交通計画に基づいた施策を展開し，マイカー依存度が高い現状から脱却を目指す。

4　今後の方向性

	区　分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	Ⅰ　現状のまま継続する Ⅱ　一部見直し等の余地がある Ⅲ　見直し等の余地が大きい Ⅳ　抜本的に見直し等が必要	**Ⅱ**	デマンドタクシーの円滑な運営を図るとともに，新たな公共交通体系である東京医科大学巡回バスの有効活用を推進する。 令和4年度に策定した「阿見町地域公共交通計画」に基づき，持続可能な地域公共交通の形成に取り組んでいく。

令和５年度　施策評価シート

主担当課	課	道路課	
副担当課	課	都市整備課	
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	2	快適で住みよいまちづくり
	項	**2**	**道路の整備及び維持・管理**

1　目指すまちの姿

町民が安全で快適に道路を利用し，広域的なネットワークとの連携が強化され，さらに交通利便性が高いまちになっています。

2　個別施策の目標達成状況

個別施策名（施策コード）	後期の成果	指標名		基準値及び目標値 H30（基準）	R1	R2	R3	R4	R5	個別施策の達成状況 評価	個別施策の課題
生活道路の整備・維持・管理 3221	安全で快適な町道となっています。	町道の整備の進捗率	目標		62.2%	62.3%	62.4%	62.5%	62.6%	**A**	町道整備は，高い費用対効果を生むために，それぞれの地域の実情にあった整備方法（4m舗装or簡易舗装等）を取り入れる柔軟性が必要である。道路修繕は計画的に進め長寿命化及びLCCの縮減を図るが，老朽化した道路施設の大量更新時代を迎えるため，さらに道路の維持修繕に力を入れる必要がある。他には，高齢者にも優しいきめ細かな道路バリアフリー化や子どもの命を守る交通安全対策の強化が求められている。これらの施策を進めるには，財源確保のために国の交付金を有効に活用することが必要である。
			実績	62.4%	63.5%	63.6%	63.8%	64.0%			
		道路舗装修繕延長（5ヶ年）	目標		2.0km	5.0km	8.0km	10.5km	13ｋｍ	**A**	
			実績	1.9km	2.3km	7.4km	11.0Km	13.5km			
都市計画道路の整備 3222	都市計画道路が整備され，便利な道路ネットワークが形成されています。	都市計画道路の供用開始率	目標		68.1%	68.1%	68.1%	68.1%	69.7%	**B**	現在整備を進めている都市計画道路寺子・飯倉線の一部事業用地の交渉が難航しており，未取得となっている。荒川本郷地区の都市計画道路整備に向け，地元の理解を得ながら事業を進める必要がある。
			実績	68.1%	68.1%	68.1%	68.1%	68.1%			
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

3　施策の進捗状況

	区　分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を基に総合的に評価	A　順調に進捗している B　概ね目標達成に向けて進捗している C　一部進捗に遅れが生じている D　進捗が大幅に遅れている	**A**	町道整備の進捗率（舗装率）については，町工事も順調に進んだが，活発な民間開発等が目標値を達成した大きな要因となった。また，道路舗装修繕延長については，単に目標値の達成だけでなく，それぞれの道路の劣化の進行状況を修繕工事の年次計画の見直しに反映することで，適切な路線を適切な時期に修繕工事できた。 都市計画道路の整備については，用地取得についての課題はあるが，おおむね計画通り進捗している。

4　今後の方向性

	区　分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	Ⅰ　現状のまま継続する Ⅱ　一部見直し等の余地がある Ⅲ　見直し等の余地が大きい Ⅳ　抜本的に見直し等が必要	**Ⅱ**	国の交付金制度や地方債制度の有効活用により財源を確保し，計画的な道路整備や道路維持補修整備を積極的に進め，生活環境の向上を図る。 また，道路整備により沿線の土地利用を誘導し定住促進を図る。

令和５年度　施策評価シート

主担当課	課	都市整備課	
副担当課	課	都市計画課	
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	2	快適で住みよいまちづくり
	項	**3**	**公園・緑地の整備及び維持・管理**

1　目指すまちの姿

公園や緑地がコミュニティ活動やスポーツ・レクリエーション，避難場所などとして積極的に活用され，町民と行政が連携して維持・管理に取り組んでいます。

2　個別施策の目標達成状況

個別施策名（施策コード）	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
				H30（基準）	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
身近な公園・緑地の整備 3231	町民ニーズを反映した，快適に利用できる公園が身近に整備されています。	町民一人あたりの都市公園面積	目標		7.8㎡	7.8㎡	7.8㎡	7.8㎡	7.8㎡／人	**A**	開発等による適正な公園整備指導を進める。また，曙地区街区公園の整備を進める他，市街化が進む荒川本郷地区に計画的な公園整備を進める。
			実績	7.7㎡/人	7.9㎡	8.0㎡	7.9㎡	7.8㎡			
公園・緑地の維持管理 3232	町民が快適に公園・緑地を利用するとともに，公園緑地里親制度を活用した管理を行っています。	公園緑地里親制度への登録団体数	目標		31団体	33団体	34団体	35団体	32 団体以上	**B**	地域住民団体等によるに環境美化等におけるボランティア活動に対し地域の理解を求め，里親登録団体数の増加が求められる。
			実績	30団体	33団体	33団体	33団体	36団体			
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

3　施策の進捗状況

	区　分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を基に総合的に評価	A　順調に進捗している B　概ね目標達成に向けて進捗している C　一部進捗に遅れが生じている D　進捗が大幅に遅れている	**A**	令和6年度開園に向け曙地区街区公園の整備を進める他，荒川本郷地区公園整備の事業化を進めている。 公園緑地の良好な環境を維持していく一つの手法として，里親制度登録団体数の更なる増加が重要であるが，少子高齢化が進む中，ボランティア活動に対して地域の理解を得ることが困難となってきている。

4　今後の方向性

	区　分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	Ⅰ　現状のまま継続する Ⅱ　一部見直し等の余地がある Ⅲ　見直し等の余地が大きい Ⅳ　抜本的に見直し等が必要	**Ⅱ**	荒川本郷地区まちづくり方針に基づく公園整備計画に取り組む。 地域のニーズに合った愛着の持たれる公園としていくため，里親団体数の増加を図る。 遊具等公園施設の安全かつ適正な維持管理を行う。

令和５年度　施策評価シート

主担当課	課	都市計画課	
副担当課	課	都市整備課	
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	2	快適で住みよいまちづくり
	項	**4**	**良好な住宅･住環境づくり**

1　目指すまちの姿

町民が快適で安心して暮らせる住環境が整っています。

2　個別施策の目標達成状況

個別施策名（施策コード）	後期の成果	指標名		基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
					H30（基準）	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
良好な住環境づくり 3241	住環境を維持･向上するための取組みが各地区でなされています。	都市計画における地区計画決定(変更)の地区数	目標			5地区	8地区	8地区	8地区	12 地区	**A**	良好な住環境を確保しつつ，土地利用に対する住民ニーズに対応するため，市街化の進捗に合わせた地区計画の見直しが適宜必要となっている。 申込件数は目標値を達成できたが，改修に繋げるよう，町民への周知に努める。
			実績		5地区	5地区	5地区	8地区	9地区			
		耐震診断･設計･改修件数	目標			5件	5件	5件	5件	75 件	**A**	
			実績		0件	3件	3件	6件	5件			
町営住宅の管理 3242	町営住宅の入居者が安全で快適に生活しています。	町営住宅の修繕率	目標			100%	100%	100%	100%	100%	**A**	町営住宅の小規模な破損や不具合が発覚した場合は，早期に修繕等を実施している。また，曙アパートについては，長寿命化計画の見直しにより大規模改修の完了年次を早めていく。 滞納整理は定期的に実施しているが，今後は滞納者へ更なる対応強化が必要である。
			実績		100%	100%	100%	100%	100%			
		町営住宅使用料収納率	目標			97%	97.8%	98.6%	99.2%	100%	**C**	
			実績		96.6%	96.4%	95.2%	95.3%	93.6%			
			目標									
			実績									
			目標									
			実績									
			目標									
			実績									
			目標									
			実績									

3　施策の進捗状況

	区　分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を基に総合的に評価	A　順調に進捗している B　概ね目標達成に向けて進捗している C　一部進捗に遅れが生じている D　進捗が大幅に遅れている	**A**	上本郷地区において，市街化調整区域の地区計画を決定し，適切な誘導が図ることができた。 耐震改修事業では災害に強いまちづくりを進めるため，耐震診断，改修工事を実施し，目標とおり達成した。 町営住宅の環境維持には，長寿命化計画に基づく計画的な修繕や，滞納者への更なる対策の強化が必要である。

4　今後の方向性

	区　分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	Ⅰ　現状のまま継続する Ⅱ　一部見直し等の余地がある Ⅲ　見直し等の余地が大きい Ⅳ　抜本的に見直し等が必要	**Ⅱ**	空き家バンク制度の周知及び新たな支援制度の調査検討を行い空き家対策の強化を図る。 町営住宅の長寿命化計画の見直しを行い，適正な大規模改修計画を策定する。 町営住宅使用料の滞納者への対策強化を図る。

令和５年度　施策評価シート

主担当課	課	都市計画課	
副担当課	課		
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	2	快適で住みよいまちづくり
	項	**5**	**景観形成**

1　目指すまちの姿

町民と行政が協力して景観づくりに取り組み，美しく魅力あるまちになっています。

2　個別施策の目標達成状況

個別施策名（施策コード）	後期の成果	指標名		基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
					H30（基準）	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
魅力あるまち並みづくり 3251	町民が，美しく魅力ある景観づくりに貢献しています。	助成した生垣の総延長	目標			1,900m	1,950m	2,000m	2,100m	2,200m	**C**	制度活用する申請件数が伸び悩んでいるため，事業の趣旨を多くの町民に周知する工夫が必要である。
			実績		1,805m	1,844m	1,862m	1,862m	1,898m			
		景観形成道路清掃等ボランティア参加団体	目標			13団体	-	-	-	14団体	**D**	対象路線の整備完了に伴い事業を終了する。
			実績		12団体	0団体	0団体	0団体	0団体			
			目標									
			実績									
			目標									
			実績									
			目標									
			実績									
			目標									
			実績									
			目標									
			実績									
			目標									
			実績									

3　施策の進捗状況

	区　分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を基に総合的に評価	A　順調に進捗している B　概ね目標達成に向けて進捗している C　一部進捗に遅れが生じている D　進捗が大幅に遅れている	**C**	景観形成ガイドラインの認知度が低く，景観形成道路における景観並びに緑化の推進が停滞している。制度や活用を含め景観整備計画の見直しを再検討する必要がある。

4　今後の方向性

	区　分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	Ⅰ　現状のまま継続する Ⅱ　一部見直し等の余地がある Ⅲ　見直し等の余地が大きい Ⅳ　抜本的に見直し等が必要	**Ⅲ**	魅力あるまち並みづくりの推進を図るため，助成制度の周知強化を図るとともに，必要により制度の見直しを検討する。

令和５年度　施策評価シート

主担当課	課	農業振興課	
副担当課	課	農業委員会事務局，学校給食センター	
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	3	活力と賑わいの産業づくり
	項	**1**	**農業の振興**

1　目指すまちの姿

農業が魅力ある産業となり，意欲ある新規就農者や農業後継者などが増加し，活力ある農業が展開されています。

2　個別施策の目標達成状況

個別施策名（施策コード）	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
				H30（基準）	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
農業振興支援策の充実 3311	新たな消費者ニーズに合った取組みを推進し，農業の振興が図られています。	認定農業者数	目標		86人	87人	88人	89人	90 人	**A**	目標数には達しているが，引き続き地域ごとの農業の担い手となる認定農業者の発掘と支援が必要である。 加工施設の確保や商品化への熱意の醸成，販路開拓が課題である。
			実績	86人	86人	89人	84人	90人			
		第六次産業認定者数	目標		12人	12人	12人	12人	12 人	**B**	
			実績	6人	11人	11人	11人	11人			
担い手の育成 3312	新規就農者や農業後継者により，将来の農業の担い手が確保されています。	青年就農給付金(経営開始型)支援者数（累計）	目標		12人	13人	14人	15人	16 人	**A**	認定新規就農者に対し令和4年度からは，「新規就農者育成総合対策」により支援を行なっている。 目標値には達成しているものの，途中離農する者もいる。
			実績	12人	13人	14人	17人	18人			
		農業後継者等支援者数	目標		12人	12人	12人	12人	12 人	**A**	
			実績	12人	12人	13人	13人	14人			
生産基盤の整備 3313	老朽化した農業施設を修繕することにより，農村環境の整備や生産性の向上が図られています。	農地維持支払交付金・資源向上支払交付金対象面積【4322 に再掲】	目標		328ha	329ha	329ha	340ha	340ha	**B**	農業施設の老朽化が進み，要望が増加している。計画的修繕が課題である。
			実績	327ha	338ha	405ha	405ha	403ha			
耕作放棄地の活用 3314	耕作を放棄された農地の再生を推進することにより，優良な農地として有効に活用されています。	耕作放棄地再生面積	目標		4.0ha	4.0ha	4.0ha	4.0ha	4.0ha	**C**	国や県の補助金が廃止されたことや，耕作放棄される前に農地の集約を図る取り組みが行なわれたことにより，耕作放棄地解消への取り組み件数が無かった。
			実績	1.6ha／年	0.19ha	0.7ha	1.1ha	0ha			
環境に配慮した農業の推進 3315	環境にやさしい農業と，持続性の高い農業生産方式が浸透しています。	特別栽培農産物数	目標		44	47	50	53	56	**B**	化学合成農薬や化学肥料を削減するなど，より安全で安心な農産物や環境にやさしい農産物を求める消費者ニーズに対応した農業生産の拡大を図る必要がある。
			実績	34 (H29)	45	45	45	45			
地産地消の推進 3316	町民が，地域で生産された農産物をより多く消費し，環境負荷の少ない生活を営んでいます。	学校給食で茨城県産食材の占める割合【2331 の再掲】	目標		92%以上	92%以上	92%以上	92%以上	92%以上	**A**	学校給食の県産食材割合は，目標値を上回る実績となった。町内・県内産の食材を活用するよう，献立を工夫しながら今後も継続していく。
			実績	92.0%	93.6 %	96.2 %	98.3 %	100%			

3　施策の進捗状況

	区　分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を基に総合的に評価	A　順調に進捗している B　概ね目標達成に向けて進捗している C　一部進捗に遅れが生じている D　進捗が大幅に遅れている	**B**	担い手の確保や，規模目標等概ね順調に実績があげられている。

4　今後の方向性

	区　分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	Ⅰ　現状のまま継続する Ⅱ　一部見直し等の余地がある Ⅲ　見直し等の余地が大きい Ⅳ　抜本的に見直し等が必要	**Ⅱ**	国の施策を効果的に活用し，担い手の発掘育成を進める。 農地の活用については，農地の集積に流れており，耕作放棄地の活用については，一部見直し等の余地がある。

令和５年度　施策評価シート

主担当課	課	商工観光課	
副担当課	課		
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	3	活力と賑わいの産業づくり
	項	**2**	**商工業の振興**

1　目指すまちの姿

企業にとって魅力ある事業環境の中で企業の投資が進み，町内企業間の活発な交流や連携により，雇用の創出と地域経済の活力につながっています。

2　個別施策の目標達成状況

個別施策名（施策コード）	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
				H30（基準）	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
産業活性化の推進 3321	様々な産業活動が活発に行われています。	従業員30 人未満の事業所数	目標		1,430所	1,435所	1,440所	1,445所	1,450所	**B**	小規模事業者の経営は，全国的な人口減少や高齢化に伴い事業存続が厳しく，起業の数と廃業の数が拮抗している。商工会とも連携し，今後の廃業を抑え，起業を増やす仕組みが必要とされる。
			実績	1,450所(H28)	1,450所(H28)	1,450所(H28)	1,450所(H28)	1,450所(H28)			
		新商品開発事業に取り組んだ店舗数	目標		12 店舗	14 店舗	16 店舗	18 店舗	20 店舗	**B**	スウィーツフェア参加店舗では，毎年新たな商品開発を進めており，今年度は新商品開発補助金の活用も増えている。新商品の継続的な販売やPRに関する支援が必要となる。
			実績	10店舗	10店舗	7店舗	15店舗	19店舗			
企業誘致の推進 3322	町内へ企業が進出し，雇用や税収の増加につながっています。	阿見吉原土地区画整理事業地内分譲済割合	目標		65%	70%	75%	80%	85%	**A**	県企業局及び県宅地販売促進課が分譲する業務用地への立地企業が完了し，さらなる企業支援策の検討と立地企業へのフォローアップ強化が必要となる。
			実績	65%	73%	100%	100%	100%			
雇用対策の推進 3323	町内で働く町民が増えています。	事業所従業員数（全産業）	目標		19,000 人	19,500 人	20,000 人	20,500 人	21,000 人	**B**	町民の雇用状況は改善してきている一方，地元企業の人材確保が困難となってきているため，就職転職フェア等の開催による地元企業とのマッチングが重要となる。
			実績	18,935人(H28)	18,935人(H28)	18,935人(H28)	18,935人(H28)	18,935人(H28)			
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

3　施策の進捗状況

	区　分		進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を基に総合的に評価	A　順調に進捗している B　概ね目標達成に向けて進捗している C　一部進捗に遅れが生じている D　進捗が大幅に遅れている	**B**	従業員30人未満の事業所数及び事業所従業員数は経済センサス活動調査のH28の数値を用いており，R3の数値はR5に公表されるため現在の状況を確認出来ていないが，経済センサス基礎調査にて事業所数は1,587（H26）から 1,789（R1）へ，国勢調査にて雇用者数は 19,393（H27）から 20,124（R2）へ増加している。 また，阿見東部工業団地はすべての区画に企業が立地し，阿見吉原地区は業務用地がすべて完売していることから，地域の雇用の創出と経済力の強化に繋がっている。

4　今後の方向性

	区　分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	Ⅰ　現状のまま継続する Ⅱ　一部見直し等の余地がある Ⅲ　見直し等の余地が大きい Ⅳ　抜本的に見直し等が必要	**Ⅱ**	6次産業化を含む新商品開発を促進するため，支援体制や周知方法等を見直しながら町特産品の拡充を図る。また，物価高騰等の影響を受けた企業等への支援策を検討し，地域経済の活性化を図るとともに，町民の就業や企業の人材確保の支援にも取り組む。

令和５年度　施策評価シート

主担当課	課	商工観光課	
副担当課	課	政策企画課，都市整備課，予科練平和記念館，生涯学習課	
総合計画の位置づけ	章	3	暮らしを支えるまちづくり
	節	3	活力と賑わいの産業づくり
	項	**3**	**観光の振興**

1　目指すまちの姿

町内の地域資源を再認識・再評価し，町民が気軽に余暇を楽しむとともに，
多くの観光客が訪れるまちになっています。

2　個別施策の目標達成状況

個別施策名（施策コード）	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
				H30（基準）	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
観光資源の活用と発掘 3331	地域観光資源を活用したイベントや広域的な連携により，多くの観光客が訪れます。	霞ケ浦周辺施設への観光客数	目標		60,000人	70,000人	80,000人	90,000人	100,000人	C	新型コロナウイルス感染症への警戒態勢が徐々に緩和している事で，徐々に客足が戻ってきており，昨年度と比べるとその状況が把握できる。今年度5月，新型コロナウイルス感染症の5類移行により，霞ケ浦周辺の観光資源や設置したサイクルサポートステーションを活用し，積極的に誘客を図っていく。
			実績	51,128人／年	44,526人	19,512人	9,444人	35,073人			
		新たな地域資源を活用したあみ観光協会主催事業数	目標		8 件	8 件	8 件	8 件	8 件	A	新型コロナウイルス感染症の影響により上半期における屋外での事業は減ったが，11月にまい・あみ・れんこんマルシェおよび年間4本のGT事業を行い，コロナの影響により低迷している観光振興の足がかりを掴んだ。また，あみ観光協会HPのリニューアルおよび効果的なSNSとの連動を図り，情報発信力の強化に努めた。今後も国や県の動向を注視し，状況に応じた施策を推進していく。
			実績	7件	7件	6件	8件	8件			
観光ＰＲの推進 3332	町に存在する観光資源を活用・ＰＲすることで観光振興が図られています。	年間入込み客数	目標		3,400,000 人	3,500,000 人	3,600,000 人	3,700,000 人	3,800,000 人	C	新型コロナウイルス感染症の影響により，依然として入込み客数に大きく影響している。今後も国や県の動向を注視し，観光客の受け入れに対応していく。
			実績	3,525,728人／年	3,397,826人	2,550,000人	2,907,500人	3,005,100人			
		あみ観光協会ホームページへのアクセス数	目標		19,000件	20,000 件	21,000 件	22,000 件	23,000 件	B	あみ観光協会ホームページのリニューアルにより，今までよりも見やすく，読みたい項目に容易にアクセスできるよう刷新した。また，情報発信力や相互フォローによる認知度向上を図るため，各種SNSとの連携を強化した。今後も状況に応じた施策を具体化していく。
			実績	18,434件／年	16,555件	21,830件	18,150件	21,903件			
		レンタサイクル利用者数	目標		60人	70人	80人	90人	100 人	C	新型コロナウイルス感染症への警戒態勢が徐々に緩和している事と，密にならない野外でのアクティビティへの需要が高まっていることで，徐々に客足が戻ってきている。今後も国や県の動向を注視し，状況に応じた施策を推進していく。
			実績	43人／年	51人	32人	2人	80人			
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

3　施策の進捗状況

指標等の成果を基に総合的に評価	区　分		進捗状況区分を選択した理由
	A　順調に進捗している B　概ね目標達成に向けて進捗している C　一部進捗に遅れが生じている D　進捗が大幅に遅れている	**B**	新型コロナウイルス感染症への警戒態勢が徐々に緩和している事と，密にならない野外でのイベントへの需要が高まっていることで，事業全般的に客足が戻ってきている。今後も国や県の動向を注視し，状況に応じた施策を推進していく。

4　今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区　分		方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	Ⅰ　現状のまま継続する Ⅱ　一部見直し等の余地がある Ⅲ　見直し等の余地が大きい Ⅳ　抜本的に見直し等が必要	**Ⅱ**	運営組織の抜本的見直しのため，観光協会の法人化を検討していく必要がある。令和6年度中の法人化を目途に，令和5年度は法人化運営委員会を組織し，委員会において諸条件（運営方針，運営体制，事業計画，定款等）を整理する。